

科 目 名	学年	期別・授業時間・単位数	教 員 名 渡部 昌弘	
建築一般構造 Architectural structure	3	後期・2 単位時間/週・1 単位	研 究 室 A棟2階 (A-208) 内線電話 8981	
科目到達レベル：□1.知識・記憶 <input checked="" type="checkbox"/> 2.理解 □3.適用 □4.分析 □5.評価 □6.創造			e-mail: m.watabe@maizuru-ct.ac.jp	
【概要】 設計された建築物を、力学的・材料学的に成り立たせるための根拠が建築構造であり、本講義では、建築構造について幅広い知識を身につけることを目的とする。				
【到達目標】				
①各種建築構造を分類できる。 ②各種建築構造を理解する。 ③地震対策について理解する。				
【学習・教育到達目標】				
(A) 自然科学と工学の基礎を身につける。 (B) 専門分野の基礎知識を修得し、技術の実践に応用できる。				
【教科書、参考書等】				
教科書：川口健一監修「史上最強カラー図解 プロが教える建築のすべてがわかる本」(ナツメ社)				
【授業計画】				
期別・週	内 容	到達目標	教科書参照ページ	
前	第1週			
	第2週			
	第3週			
	第4週			
	第5週			
	第6週			
	第7週			
	第8週	★前期中間試験		
期	第9週			
	第10週			
	第11週			
	第12週			
	第13週			
	第14週			
	第15週			
		★前期期末試験		
後	第1週	シラバス内容の説明，建築構造について	①	
	第2週	建築構造ケーススタディー	①	
	第3週	外力と荷重	①	
	第4週	安全性にもとづく分類・支え方にもとづく分類	①	
	第5週	架構にもとづく分類 (1)	①	
	第6週	架構にもとづく分類 (2)	①	
	第7週	材料にもとづく分類 (1)	①	
	第8週	★後期中間試験		
期	第9週	材料にもとづく分類 (2)	①	
	第10週	材料にもとづく分類 (3)	①	
	第11週	構造部材の役割 (1)	②	
	第12週	構造部材の役割 (2)	②	
	第13週	地震対策 (1)	③	
	第14週	地震対策 (2)	③	
	第15週	地震対策 (3)	③	
		★後期期末試験		
後期期末試験返却，到達度確認				
【成績の評価方法・評価基準】 成績は、2回の定期試験(80%)とレポート等(20%)により総合的に評価する。到達目標に基づき、各種建築構造を分類し、それらの内容を理解し説明できること、更に地震対策について理解していることをもって評価の基準とする。			【科目の位置付け】	
【備考】			先に履修する関連科目 建設材料学，構造力学IA・B 後で履修する関連科目 コンクリート構造学I・II， 建築構造I・II	